

日本サルコペニア・フレイル指導士 －活動報告書作成の手引き－

活動報告書の記載の注意事項

活動報告は下記の注意事項に沿って、申請時に Web ページから直接記載していただきます。記入用のフォーマットを別に示しますので参照してください。尚、報告内容は、過去 5 年間に申請者が経験した活動とします。

1. 職種の選択

- ◆ 職種はいずれか一つを選択してチェックを入れてください。

2. 内容の選択

- ◆ 報告内容が最も合致する項目を選択してチェックを入れてください。

3. 活動報告の形式

- ◆ 活動報告は、次のAまたはBのいずれか、または織り交ぜて5例の報告書を提出してください。報告形式の比率について指定はありませんが、臨床でご活動の場合は、極力、「A. 症例報告」を選択してください。

A. 症例報告

- B. サルコペニア・フレイルを有する対象者、または高齢者に対する健康指導の活動報告（講演、住民健診での講和等）、及び学生への講義指導

A. 症例報告

- ◆ 症例報告は、対象者の心身機能の包括的評価やその結果に基づく適切な指導・考察などが読み取れることが重要です。
 - 1) 症例情報（年齢・性別）、活動期間を記載して下さい。症例を特定できるような氏名、イニシャル、生年月日、居住地は記載しないで下さい。
 - 2) 現病歴：心身機能の包括的評価を実施するに至る病歴・過程について簡潔に記載して下さい。既往歴、家族歴、生活歴等は全てを記載する必要はありません。

※患者の個人情報につながる紹介元（先）病院・施設名等の記載は避けて下さい。
 - 3) 心身機能の包括的評価および臨床経過：入院・外来中または地域における指導・助言内容や臨床経過について記載して下さい。
 - 4) 本症例に関する考察：考察としては、症例に関する心身機能の包括的評価や評価について簡潔に記載して下さい。

**B. サルコペニア・フレイルを有する対象者、または高齢者に対する健康指導の活動報告
(講演、住民健診での講和等)、及び学生への講義指導**

◆ 集団に対する健康指導または教育では、対象者とおよその人数、各自の実施した指導内容の要約、および指導により得られる効果などを記載してください。

- 1) 集団に対する健康指導の対象者はサルコペニア、フレイル、ロコモティブシンドロームを有する者、または高齢者とします。開催を証明する書類（パンフレットなど）を提出してください。
- 2) 大学などの教育機関における学生への講義も活動として報告することが可能です。指導用カリキュラムに、サルコペニアやフレイルに関する講義であることが明記されている証明となる書類（シラバスなど）を提出してください。
- 3) 集団指導の主旨、企画者についても記載してください。
- 4) 集団指導に関する考察：考察としては、指導により得られる効果について簡潔に記載して下さい。

2022年2月1日 改定